

提出意見及びこれに対する県の考え方（詳細）

意見内容の概要(区分)

1 計画全般について/2 視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進/2 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進/2 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化/2 視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

県の考え方の概要(区分)

A 改定案に反映したもの/B 既に改定案に反映済みのもの/C 意見の趣旨を今後の取組の参考とするもの/D 改定案に反映できないもの/E その他(感想、質問など)

| 意見番号 | 意見内容の概要(区分) | 意見の概要 | 県の考え方の概要(区分) | 県の考え方 |
|------|-------------|--|--------------|---|
| 1 | 1 | 第1期計画は全目標が未達であり、特に働く世代の非実施率が30.6%に増加し、スポーツの二極化が深刻化しています。これを受け、第2期計画は成人の実施率を70%以上に再設定したものの、働く世代への施策は、時間不足という根本課題に対し、第1期で目標達成に至らなかった啓発やイベント支援の延長線上に留まっています。日常生活やライフスタイルに深く踏み込んだ、より具体的かつ抜本的な改善策なしには第2期計画も目標未達になることが目に見えています。 | C | スポーツをなかなか行うことができない成人期においても、それぞれの興味・目的や体力・技術に応じてスポーツを実践し、習慣化していくことは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 2 | 2-視点2 | 人と人のコミュニケーションは人間がより良く生きていくには必要不可欠な事だと思います。スポーツ活動は、そのコミュニケーションを醸成でき、且つ健康的な身体を保持できる活動であると信じております。自分の仕事もバスケットコートの常設・レンタルに取り組んで居りますが、スポーツ県である神奈川県ですがまだまだ気軽にスポーツ活動に取り組める場所も機会も少ないと思います。とりわけバスケットコートがあれば、自然に人が集まって来られコミュニケーションの醸成にはなります。自分の仕事にも繋がってしまいますが、是非、県内に気軽に県民が利用できるスポーツ施設・バスケットコートを設置頂き運用頂きたいです。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 3 | 1 | 成人のスポーツ実施率は増加している一方で、非実施率も増加しており二極化が進んでいることが資料からも確認できます。無関心層の方々にスポーツの価値や楽しさを知っていただくきっかけが必要だと思います。既に様々な施策を実施されていると思いますが、この無関心層の方に少しでもスポーツの楽しさを知っていただくような機会創出の場が必要だと感じました。 | C | スポーツをなかなか行うことができない成人期においても、それぞれの興味・目的や体力・技術に応じてスポーツを実践し、習慣化していくことは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 4 | 1 | 内容をしっかりと理解していない状況での内容だと思いますが、横浜武道館が稼働を開始して数年経ちますが、武道団体、武道イベント以外にもたくさんのイベントが開催され利用者がとても多い状況です。全国的にも横浜武道館の認知度が上がっていると思うので、ぜひ武道団体の全国的なイベントを横浜武道館で開催できると良いと思います。例えば、シニア世代の格武道の全国オープン大会。格武道団体が交流できるようなことを第一の目的としたイベント。全国からは、神奈川の観光を含めて計画をする。以上です。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 5 | 2-視点2 | 公園にてつぼうがない！（綾瀬市） | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 6 | 1 | スポーツ体験楽しいです | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 7 | 1 | 体験の機会が定期的にあると自分の体の状態が確認できてよいと思います。（3033は良い機会と思います） | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 8 | 2-視点2 | ボールが使える公園を増やしてほしいです | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 9 | 1 | 子どもから老人まで生涯スポーツを推進して健康増進を進めてほしいと思います。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 10 | 2-視点2 | どこの公園にもつぼう、ブランコをつけてほしい！ | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 11 | 2-視点2 | 公園にバスケットコートがほしい | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 12 | 2-視点2 | 地域の公園に鉄棒が無さすぎて、子供が練習出来る場所がないです。雨の日でも身体を予約なしで動ける場所を作ってほしい(子供) | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 13 | 1 | 子供と運動できるイベントが多いと良い。タウンヒルズのような子供と1日過ごせる場所がほしい | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 14 | 1 | こどもとスポーツするイベント・常設をもっとあってほしい | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 15 | 1 | 子どもと親と一緒にできるスポーツのイベントをたくさんしてほしい | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 16 | 2-視点2 | バスケゴールのある公園が増えてほしい。サッカーができる広い公園が増えてほしい。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 17 | 2-視点2 | 小園公園の芝生をきれいにしてほしい。すなばがほしい | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 18 | 1 | ニュースポーツの体験が一度にできるイベントはかなりあると思うのですが（ゆとりの森のイベントや自治会レクetc）、今の小学生が習い事ではなくメジャーなスポーツをもっと一度に体験できるイベントがあると助かります。（ドッジボール、バレー、バスケ、野球etc） | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 19 | 2-視点2 | 近くの公園に遊具や身体をつかえるものがほしい。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 20 | 2-視点2 | 座間市にバーベキューができる公園、室内体育館で雨の日に運動ができる場所がほしいです。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 21 | 2-視点2 | 公園にポニー乗馬を作ってほしい。ゆうぐがキレイなものを設置してほしい。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 22 | 2-視点2 | 外でボールあそびができる環きょうがもっとほしいです。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 23 | 2-視点2 | 吉岡地区の三角公園・陵南公園・ゆとりの森etcに鉄棒を作ってほしいです。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 24 | 2-視点2 | 綾南公園にランニングコースがあったらいいな | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 25 | 1 | 低学年の運動教室があると良い。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 26 | 2-視点2 | 室内アスレチックがあると良い | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 27 | 2-視点2 | 風の公園に遊具が欲しい。風車公園の駐車場の時間をのばしてほしい。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 28 | 1 | サッカー教室をもっと増やしてほしい。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 29 | 2-視点2 | 小園西公園or小園東公園に鉄棒がほしいです。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 30 | 2-視点2 | 釜田第一公園、釜田第二公園に鉄棒が欲しいです。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 31 | 1 | ソフトバレーボール大会をやってほしい | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 32 | 2-視点2 | 綾西遊歩道にライトが欲しい | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

意見内容の概要 (区分)

1 計画全般について/2 視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進/2 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進/2 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化/2 視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

県の考え方の概要 (区分)

A 改定案に反映したもの/B 既に改定案に反映済みもの/C 意見の趣旨を今後の取組の参考とするもの/D 改定案に反映できないもの/E その他(感想、質問など)

| 意見番号 | 意見内容の概要 (区分) | 意見の概要 | 県の考え方の概要 (区分) | 県の考え方 |
|------|--------------|---|---------------|--|
| 33 | 2-視点1 | 中学生は子供から少年、青年と成長する過程にあり、社会性養成のためにも徳育としてのスポーツは重要と思います。部活は彼らにとって毎日通う学校で、毎日顔を合わせることでできる先輩、仲間と過ごす、非常に重要な場です。さらに先生が指導してくれることがとても重要ですが、ここは一部代替がきくところでもあります。 地域の力を生かし、現在の部活に近い形で、学校の施設を従来どおり使用できる形で、進めることが大変重要と思います。 また少子化が進み、部活の集約化が必須の地域もあります。この際も地域の力、知恵を結集しながら、複数校の生徒が1か所に集まってでも部活を続けようという意欲を、彼らにもってもらいイベントを開催しながら、集約を進めることが肝要であり、学校側に柔軟に対応していただけることが必須と思います。 教員の過重労働を避けることも必然ですが、同時に意欲をもって部活に学校顧問として、もしくは地域の関係者として活動すること希望する教員に対しては、兼業を許可していただき、彼らの意思を生かしていただきたいと思っています。OECDでも日本の教員の勤務時間が長いと指摘しながら、またそのことが学生たちとの信頼関係醸成に非常に大きく貢献していると述べています。過剰を除きながら、意思も生かす工夫が必要だと思います。 | C | 中学生をはじめとした子どもたちが継続的にスポーツに親しむ機会を確保することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 34 | 2-視点2 | 「第2期スポーツ推進計画(素案)」に関する意見の募集について マリンスポーツが盛んなこの神奈川県ですが、マリンスポーツには自然領域での活動のため危険が伴います。また、その水域でレジャーとして楽しんでいる人たちの事故に直面する可能性もあります。これらの水難事故の防止・有事の際の対応などに関する安全講習会を実施してはいかがでしょうか?まずは教育機関と連携し、事故が起きやすい若年層(小中高生)をはじめその保護者などを対象とします。 | C | 県では、これまでに水泳における事故の防止を目的に、公立学校や公営プールの安全管理担当者等を対象に、事故防止に向けた施設の安全管理や救命救急処置等の安全管理講習会を実施しております。スポーツ事故等の防止を図り、県民がスポーツを安心して楽しめる環境を整えていくことは重要であると考えており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 35 | 2-視点2 | スポーツ環境の基盤となる人材の育成の取り組みについてですが、する、みる、支える、知るの四つの観点に加えて、集うにフォーカスした取り組みを始めてみると良いのではないかなど考えました。集うことから始められるスポーツ環境があることによって、誰もが楽しめる環境づくりをより促進させることができると考えました。そのため、情報をあらゆる人に共有することが必要だと考えます。バイトで求人募集しているアプリがあるのと同様に、誰でも自由にスポーツができますよ、というアプリによって周知するような取り組みがあればいいなと思いました。 | B | いただいたご意見は、視点1の5『デジタル技術の活用』や視点3『スポーツの持つ力による地域活性化』において、スポーツを通じて「あつまる」「つながる」機会の創出などに取り組むこととしています。 |
| 36 | 2-視点1 | まず、若者や働く世代が参加しやすい環境づくりが必要だと思います。部活動やサークル以外でも、短時間で気軽にスポーツができる場所や機会があれば、運動不足の解消につながると思います。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 37 | 2-視点4 | 次に、障がいのある無に関わらず誰もが一緒にスポーツを楽しめる環境を整えてほしいです。パラリンピックで注目された障がい者スポーツを、もっと身近なものにできると良いと考えます。 | B | いただいたご意見は、視点4『スポーツを通じた共生社会の実現』において、取り組むこととしています。 |
| 38 | 2-視点1 | また、現代のネット社会や自分もゲームをすることが多いので、eスポーツやオンラインフィットネスなど、新しいスポーツの形も計画に含めると、より多くの人が参加できるようになると思います。 | B | いただいたご意見は、視点1の5『デジタル技術の活用』において、取り組むこととしています。 |
| 39 | 2-視点1 | 最後に、計画の進み具合を数字で示し、県民にわかりやすく伝えることも大切だと感じます。例えば、若者のよく見るTikTokやYouTubeなどで情報を流すなどです。こうした取り組みで、スポーツがより身近なものになることを期待しています。 | C | 県民の皆様へのわかりやすい情報発信は重要であり、デジタル技術を活用した情報発信に努めるなど、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 40 | 1 | 第2期神奈川県スポーツ推進計画について 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進の施策を県が一体となって行うことには賛成です。 若い頃にスポーツ活動の経験があるとならば、大人になってからの向き合い方が全く違ってきますので、まず地域や学校でのきっかけ作りは大事だと思います。 ただ、資料にもありましたがスポーツを「行いたいと思っているができない」回答理由として、仕事が忙しくて時間がないというのには全くその通りで、根本の働き方や時間の使い方で同時に考えていかないと、働く世代では空回りしそうです。大規模なイベントは興味を引きますが、チョコザップではないですが、ちょっと時間が空いた時に気軽に体を動かせる多種多様な機会が身近にある社会になるといいと思います。よろしくお願ひいたします。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 41 | 1 | まず、「みる」「ささえる」に関する数値目標を追加したことは、大変良いことだと思います。理由として、スポーツを観るということは、そのスポーツとの出会いであり、将来的にそのスポーツをやってみようという強いきっかけ作りになると思います。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 42 | 1 | また基本目標である「前向きで活力のある社会」を実現するためには、スポーツ観戦により、心身の健康増進や他人との一体感の共有による会社との繋がりなどの効果が十分期待されると思います。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 43 | 2-視点2 | 次にアスリートの育成に関してですが、まず「指導者」の育成が第一と考えます。そのためには、そのスポーツを引退した選手のセカンドキャリア育成に力を注いでいただきたいと思っています。大学のスポーツ関連の学部への授業料などの支援や、就職(学校や団体等)の斡旋支援等の制度を創設していただきたいと思っています。 そうした指導者を育成し、中学生や高校生などの指導にあたり、将来のTOPアスリートを神奈川県から多数輩出することができると思います。 | C | スポーツキャリア全体を見通したアスリートの育成や、指導者等の人材の育成・確保は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 44 | 2-視点1 | アーバンスポーツのルーツを紐解きますと起点は公共空間(駅前・路上・公園等)に集まり、上手さだけでなく、オリジナリティやスタイル、表現力を周囲とつながりながら磨いていくことにあるかと存じます。 このことはスポーツ基本法の改正ポイントである「集まる・つながる」に共通するものと捉えています。 また、部活動の地域移行の受け皿として地域のアーバンスポーツ団体が担うことで学校にはない社会人や大人と接する機会となったり、子どもたちの新たな発表の場であったり、様々な人とつながる場として貢献できることもあるのではないかと考えます。 これらの観点からもアーバンスポーツ(ダンスも含む)はこれから着々発展していくポテンシャルを秘めており、また、定期的に大会や体験会・学校訪問を行っており、活動拠点(うみかぜ公園)を有する横須賀市が先陣を切っていければと思いますが、予算やマンパワーが不足している実情もありますので一般の県のスポーツ推進計画が、上記を後押ししてくださるような存在となっただけですと大変心強く存じます。 | B | いただいたご意見は、視点1の2『スポーツに親しむ意欲や態度の育成、機会の確保』等で取り組むこととしています。 |
| 45 | 1 | スポーツの非実施等については家庭の経済力いわゆるスポーツ格差が要因の1つと考えられる。そのあたりの現状・課題にもう少し踏み込んだ方が良いと思う。(部活動の地域展開が始まるので)。特にスポーツの産業化(ビジネス化・体制化)を否定する訳ではないが、スポーツを安価に楽しめるコンテンツをもっと紹介していくべきと思う。例えば、自然の中で楽しめるハイキングなど。(安価に楽しめることを強調してほしい) | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 46 | 2-視点2 | 公共のスポーツ施設の予約が取りづらい問題があります。 1チームが不足とまでいえませんが、多数の予約登録カードを保有しています。そのような、システム面での改善も期待したいです。 | C | 県民の皆様へのニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 47 | 2-視点1 | アーバンスポーツ施設の増加のお願い イベントの開催 | C | 県民の皆様へのニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 48 | 1 | 神奈川県でスポーツを通じて親しめるスポーツ活動の推進に一企業としてお役に立ちたいと存じます。 情報連携を引き続きよろしくお願い致します。 | C | スポーツの持つ多様な力を活用した取組は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 49 | 1 | ・数値目標の%が高いような気がします。 | D | 数値目標については、国のスポーツ基本計画や新かながわグランドデザイン、他の地方自治体の目標を参考にするとともに、現行計画からの継続性を踏まえ、設定しています。 |
| 50 | 2-視点3 | ・神奈川県らしさ、海・山ありの自然環境を生かしたスポーツの推進が特色になるのではと思いました。 | B | いただいたご意見は、視点3『スポーツの持つ力による地域活性化』の中で、スポーツ資源を活用して地域を盛り上げる取組として、取り組むこととしています。 |
| 51 | 1 | ロゴほしいですね かながわスポーツ・プラットフォームでの活動を構築していきたいです。 | C | スポーツの持つ多様な力を活用した取組は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 52 | 2-視点1 | ・サンマル サン運動は初めて聞きました。良い提唱と思います。私にとってはウオーキンに当たります。今年の夏場は暑すぎて出来ていません。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 53 | 1 | ・身体活動と死亡リスクのデータは参考になります。前記の提唱も含め、もっと目に留まる広報があったらよいと思います。 | C | 県民の皆様へのわかりやすい情報発信は重要であり、デジタル技術を活用した情報発信に努めるなど、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 54 | 2-視点1 | 4 スポーツを通じた健康・生きがいづくり (成果と課題)・・・P.24 高齢者のスポーツ交流大会である「かながわシニアスポーツフェスタ」や、「かながわレクリエーション大会」への支援について、ありがとうございます。 今後、登録協会に対して助成金など選手ばかりではなく運営側の援助をお願いしたいところです。 登録している協会と未登録協会に対して権利・義務を明確にしていけないと、ただ登録して何も普及推進に貢献せず形骸化する協会が増えていくと感じています。 | C | 幸福で豊かな生活を実現するため、スポーツを通じて、未病の改善や健康寿命の延伸、生きがい・仲間づくりの促進を図ることは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 55 | 2-視点2 | 【主な取組】イ スポーツ環境の基盤となる「場」の充実・・・P.49 自然公園における登山道、身近で安全なウォーキングやサイクリングの場となり得る幅の広い歩道、自転車道等の整備など、「場」の充実に取り組みにあたり、登山道であれば「トレイルランニング」の危険性、「MTB:マウンテンバイクによる自然破壊」が叫ばれています。自歩道も棲み分けが行き届かず、自転車道を歩いているため歩道に自転車が移動する・・・共存共栄といえども、こうなれば無秩序状態になります。 また、軽車両である自転車は「二段階右折」という道交法が存在し、それに即したルートを確保するようにお願いします。 例えば、歩道橋があるため右折が出来ない構造になっている、左側端路が左折専用路になっていて直進する場合に中央路線に移動が必要になり、身の危険を感じる等 自転車によるピークを推進するのであれば、駐輪場の確保も必要です。駐輪するにも使い切り自転車とロードバイクでは販売価格も持ち主の意識も違います。一緒にされて「ぶつかり合いをされる」ような駐輪場では使えません。きめ細やかな施策を希望します。 | C | 県民の皆様へのニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

意見内容の概要 (区分)

1 計画全般について/2 視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進/2 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進/2 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化/2 視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

県の考え方の概要 (区分)

A 改定案に反映したもの/B 既に改定案に反映済みのもの/C 意見の趣旨を今後の取組の参考とするもの/D 改定案に反映できないもの/E その他 (感想、質問など)

| 意見番号 | 意見内容の概要 (区分) | 意見の概要 | 県の考え方の概要 (区分) | 県の考え方 |
|------|--------------|---|---------------|--|
| 56 | 1 | 知的障害競技にあるソフトボールチームを神奈川県も発足しても良いと思います。全国大会も盛り上がっていると聞きます。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 57 | 2-視点3 | スポーツを通じた地域活性化が私的にはすごく良い案だと思いますのでもっと主流化していくことを願っています。 | C | スポーツの持つ多様な力を活用した取組は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 58 | 1 | ■数値目標 (数値目標の透明性・進捗指標の明確化) 素案では、例えば成人・子どものスポーツ実施率などの数値目標が設定されていますが、この数値目標に対して、年度ごとの進捗を確認できる仕組みがあると、県民としても「見える化」されて安心です。 | C | 現状においては、子どものスポーツ実施率を確認できる「児童生徒体力・運動能力調査」は毎年度実施していますが、それ以外の数値目標を確認するための調査は、計画改定の検討に合わせて実施することとし、毎年度のスポーツ実施率等の把握は、「県民ニーズ調査」や国の調査を参考値として活用しています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 59 | 2-視点1 | ■視点1 (世代別・ライフステージ別の取組強化) 素案には乳幼児・児童・青年・成人・円熟期といったライフステージに応じた施策が示されていてとても分かりやすく、施策がより現実に即したのになると思います。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 60 | 2-視点1 | ■視点1 (情報発信・デジタル支援の充実) 県民に対して、スポーツ実施機会や施設情報、イベント情報をわかりやすく届けるため、県・市町村・クラブが連携した情報サイトの整備についての記載を検討して欲しいです。 | B | ホームページでの情報発信は、視点1の5『デジタル技術の活用』の中で記載しており、令和7年12月に開設した、かながわのスポーツ満載のポータルサイト「ENJOY! SPORTS! KANAGAWA」において、様々なスポーツ情報を発信しています。 |
| 61 | 2-視点2 | ■視点2 (環境づくりの推進) 素案には場の充実・人材の育成といった環境整備が記載されています。ただ単に体育館やグラウンドを整備するだけでなく、県民が気軽に集まれる「居場所としてのスポーツ場」「地域サークル活動の拠点」「スポーツ×交流」の場を意識した環境整備に取り組んでいただきたいです。 | A | 視点1の6『スポーツ活動の環境整備』(P49)に、県民が利用しやすい「場」の充実に取り組むことを反映しました。 |
| 62 | 2-視点2 | ■視点2 (スポーツ施設の整備について) 単に建設・更新するだけでなく、環境配慮 (省エネ・再生可能エネルギー・バリアフリー・多目的利用) を前提とし、老朽化施設のリニューアルや複合化 (文化・交流・スポーツ) によって持続可能な整備についての記載を検討して欲しいです。 | C | 施設整備の考え方については、P50に記載のとおり、県としては、スポーツ団体や利用者等の意見を伺いながら、整備・充実が必要な施設等とその内容、時期等の具体的な検討を行い、県民が安心してスポーツを楽しめる施設等の整備・充実に努めます。 |
| 63 | 2-視点1 | ■視点2 (スポーツと健康・医療・福祉の連携) スポーツは健康寿命延伸や介護予防の要となる。現状、健康づくりとの関連は記載されているが、医療・福祉部門との協働は不十分と感じます。今後、医療分野などと連携した、「運動処方」「プログラム」についての記載を検討して欲しいです。 | A | 視点1の4『スポーツを通じた健康・生きがいがづくり』(P44)に健康関係部とも連携していくことを反映しました。これまでも、未病改善や高齢者スポーツ等の分野で健康医療局、福祉子どもみらい局等と連携しており、引き続き取組を進めてまいります。 |
| 64 | 2-視点3 | ■視点3 (スポーツツーリズム・地域活性化との連携強化) 見直しのポイントの一つとして「スポーツツーリズムなど、スポーツを通じた地域活性化の推進」が挙げられています。この観点を、「スポーツ合宿」「スポーツイベント誘致」の形で展開して欲しいです。 | B | いただいたご意見は、視点3『スポーツの持つ力による地域活性化』の中で、機会を捉えて取り組んでまいります。 |
| 65 | 2-視点4 | ■視点4 (障がい者スポーツの推進) 素案で「障がい者のスポーツ実施率」を設定した点は評価できます。今後、障がいの種類や重度・軽度の違いに応じたきめ細かい取り組みを推進されることを期待しています。 | C | 人種、性別、年齢、障がいの程度等にかかわらず、誰もが生き生きと喜びを時間できる共生社会の実現は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 66 | 2-視点4 | ■視点4 (デフリンピックのレガシー) 県はデフリンピックを応援するため様々な取り組みを通じてデフリンピックの知名度向上と機運醸成を図っていると聞いております。その取り組みを活かした仕組 (レガシー) について記載を検討して欲しいです。 | A | 人種、性別、年齢、障がいの程度等にかかわらず、誰もが生き生きと喜びを時間できる共生社会の実現は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。なお、デフリンピックの記載については、視点4『スポーツを通じた共生社会の実現』の中で記載を追加しました。 |
| 67 | 1 | ■全体 (進捗管理・評価・改善サイクルの明示) 計画期間中の取り組みを「PDCAサイクル (計画・実施・評価・改善)」で回すことが重要です。PDCAの仕組みは記載されているが、評価方法や関係者参画の記述が少ないため、記載を工夫して欲しいです。 | A | V-4施策の総合的かつ計画的な推進のために必要な事項 (P59) の記載を一部見直しました。 |
| 68 | 2-視点1 | ■その他 (多様な参加形態・時間帯への対応) 働き方や家庭事情により、スポーツ参加の機会が制約される層が多い中、柔軟なプログラム設定の具体策の記載が不足している。短時間・夜間・休日対応型プログラムやオンライン参加制度など、多様な参加形態について記載を検討して欲しいです。 | C | スポーツをなかなか行うことができない成人期においても、それぞれの興味・目的や体力・技術に応じてスポーツを実践し、習慣化していくことは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 69 | 2-視点1 | (数値目標について/P.31～) ・SNSやHPなどでスポーツに関する情報をもっと発信していったほうが、スポーツ実施率につながると思います。 | C | 県民の皆様へのわかりやすい情報発信は重要であり、デジタル技術を活用した情報発信に努めるなど、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 70 | 2-視点1 | (「施策1 スポーツに親しむきっかけづくり (乳幼児期)」について/P.37～) ・子どもと親と一緒に運動できるイベントを増やしていただきたいです。 | C | 運動習慣が身に付いていない子どもへスポーツに触れる機会を提供するためには、家庭や地域が一体となって取り組むことが重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 71 | 2-視点1 | (「施策2 スポーツに親しむ意欲や態度の育成、機会の確保 (児童・青年期)」について/P.39～) ・子どもがいろいろな種目のスポーツに関わることで、子どもの育成につながると思いますので、ぜひマルチスポーツを取り入れていただきたいです。 | B | いただいたご意見は、視点1の2『スポーツに親しむ意欲や態度の育成、機会の確保』において、地域における多様なスポーツ活動の推進として取り組むこととしています。 |
| 72 | 2-視点1 | (「施策2 スポーツに親しむ意欲や態度の育成、機会の確保 (児童・青年期)」について/P.39～) ・部活動の地域展開については、子どもたちがいろいろなスポーツに親しんで、スポーツの楽しさを感じられるようにしたいと思っています。 | C | 中学生をはじめとした子どもたちが継続的にスポーツに親しむ機会を確保することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 73 | 2-視点1 | (「施策3 スポーツに親しむ習慣の確立、楽しみ・ささえる機会の提供 (成人期)」について/P.41～) ・観戦率やボランティア率が入ったのはよいと思いますので、ぜひ、観戦イベントやボランティア体験など、幅広い事業をやっていただきたいです。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 74 | 2-視点1 | (「施策3 スポーツに親しむ習慣の確立、楽しみ・ささえる機会の提供 (成人期)」について/P.41～) ・「ちょっと運動」や「気軽に運動」といった文化を広めていただきたいです。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 75 | 2-視点1 | (「施策3 スポーツに親しむ習慣の確立、楽しみ・ささえる機会の提供 (成人期)」について/P.41～) ・社会人はどうしても時間がなく、スポーツができないので、スポーツを見たり、ささえたりすることはいいと思います。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 76 | 2-視点1 | (「施策4 スポーツを通じた健康・生きがいがづくり (円熟期)」について/P.43～) ・未病改善や健康寿命の延伸は大切なので、それにつながるようなスポーツをどんどん発信していただきたいです。 | C | 幸福で豊かな生活を実現するため、スポーツを通じて、未病の改善や健康寿命の延伸、生きがい・仲間づくりの促進を図ることは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 77 | 2-視点1 | (「施策4 スポーツを通じた健康・生きがいがづくり (円熟期)」について/P.43～) ・高齢者が参加しやすい運動講座を開催していただきたいです。 | C | 幸福で豊かな生活を実現するため、スポーツを通じて、未病の改善や健康寿命の延伸、生きがい・仲間づくりの促進を図ることは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 78 | 2-視点1 | (「施策5 デジタル技術の活用」について/P.45～) ・eスポーツはゲーム依存等の問題もあるため、バーチャルスポーツなど、スポーツの幅を広げられるようなものをぜひ活用していただきたいです。 | A | eスポーツについては、スポーツの価値を高める施策展開のひとつとして活用を進めていくこととし、視点1の5『デジタル技術の活用』に第2期計画におけるeスポーツの考え方を追加しました。 |
| 79 | 2-視点1 | (「施策5 デジタル技術の活用」について/P.45～) ・eスポーツは高齢者の運動機能を鍛えることにも使えらるため、取り入れることには賛成です。 | C | eスポーツについて、スポーツの価値を高める施策展開のひとつとして活用を進めることは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 80 | 2-視点2 | (「施策6 スポーツ活動の環境整備」について/P.48～) ・県立スポーツセンターはとても良い施設だと思いますので、スポーツ実施や地域活性化にどんどん活用していただきたいです。 | C | 県民の皆様へのニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 81 | 2-視点2 | (「施策6 スポーツ活動の環境整備」について/P.48～) ・スポーツセンターにスポーツ指導者を置いて、気軽に運動指導をしてもらえるようにしていただきたいです。 | B | 県立スポーツセンターでは、体力測定会での運動指導や運動指導等に関するスポーツ総合相談窓口を設置しております。 |
| 82 | 2-視点2 | (「施策6 スポーツ活動の環境整備」について/P.48～) ・アーバンスポーツができる施設をもっと身近に作っていただきたいです。 | C | 施設整備の考え方については、P50に記載のとおり、県としては、スポーツ団体や利用者等の意見を伺いながら、整備・充実が必要な施設等とその内容、時期等の具体的な検討を行い、県民が安心してスポーツを楽しめる施設等の整備・充実に努めます。 |
| 83 | 2-視点2 | (「施策6 スポーツ活動の環境整備」について/P.48～) ・県立スポーツ施設の空調設備やバリアフリー化を進めていただきたいです。 | C | 施設整備の考え方については、P50に記載のとおり、県としては、スポーツ団体や利用者等の意見を伺いながら、整備・充実が必要な施設等とその内容、時期等の具体的な検討を行い、県民が安心してスポーツを楽しめる施設等の整備・充実に努めます。 |

意見内容の概要(区分)

1 計画全般について/2 視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進/2 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進/2 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化/2 視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

県の考え方の概要(区分)

A 改定案に反映したもの/B 既に改定案に反映済みのもの/C 意見の趣旨を今後の取組の参考とするもの/D 改定案に反映できないもの/E その他(感想、質問など)

| 意見番号 | 意見内容の概要(区分) | 意見の概要 | 県の考え方の概要(区分) | 県の考え方 |
|------|-------------|---|--------------|--|
| 84 | 2-視点3 | (「施策8 スポーツの持つ力による地域活性化」について/P.54~) ・行政単体では弱いので、民間企業・NPO・市町村など様々な団体と協働し、スポーツでいろいろな課題を解決していただきたいです。 | A | 多様な主体との連携は、視点3の8『スポーツの持つ力による地域活性化』において、市町村、スポーツ団体、企業など多様な主体との連携による地域活性化に取り組むこととしております。なお、視点2の6『スポーツ活動の環境整備』においても、様々な主体との連携が重要であるため、一部追記いたしました。 |
| 85 | 2-視点3 | (「施策8 スポーツの持つ力による地域活性化」について/P.54~) ・神奈川はいろいろな資源があるので、スポーツと観光、文化、食を組み合わせた地域ブランディングを期待します。 | C | スポーツの持つ多様な力を活用した取組は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 86 | 2-視点4 | (「施策9 スポーツを通じた共生社会の実現」について/P.57~) ・デフリンピックが東京で開催されるので、ぜひこの高まった機運を活用して、障がい者のスポーツを盛り上げていただきたいです。 | C | 人種、性別、年齢、障がいの程度等にかかわらず、誰もが生き生きと喜びを時間できる共生社会の実現は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 87 | 1 | ・有名人を招いたイベントでモチベーションを高めるのも良いと思います。 | C | スポーツの持つ多様な力を活用した取組は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 88 | 2-視点2 | 小学生の子どもがいますが、泳げる環境を作ることにもっと力を入れていただきたいです。市立小学校での水泳の授業回数の少なさに驚きます。長女は、5回程度あったと思いますが、うち2回は生理のために欠席でした。いまだに、クロールや平泳ぎもできません。40代の私は、昔小学校の授業ではきちんとバタ足、クロールがマスターできるようになりました。神奈川の、海に面している地形上、水害事故に巻き込まれる可能性も考え、自力で泳げる技術、知識をもっと教育していただきたいです。 以下の提案をいたします。 横浜を象徴する青色は海を表しますが、小学生から高校生には、海、川で、水害を想定した実践をしていただきたいです。水に対して、親近感、恐怖感、両方を持って欲しい。水泳の効果は、心理的、身体的、脳にも良い影響があります。海外のプールに倣い、魚と一緒に泳げるプールを作る提案です。海水は水面に浮く浮力が4%高くなり、泳ぐ人には楽になります。また、海水は塩素等を使用しなくてよくなり、海水魚と一緒に泳ぐことの魅力が生まれます。世の中に泳ぎを習うプールは沢山あっても、なぜ、泳げるようになった人が泳ぎなくなるプールが無い。足が届かない、水深10m以上の深いプールが、手軽に利用できる身近な場所にいないのか、疑問に思います。泳げるようになると、海や川、磯などで泳ぎ、事故に遭います。水難事故防止と泳ぐ魅力を余すことなく伝えるプールを提案します。警察庁の統計、過去10年間、六月から八月の夏場に水難事故が集中し、死者数は毎年千人を超え、八割が海と河川で起き、着衣の状態では七割が亡くなっています。水辺でレジャーを楽しむ人は年間2千万人、昨年の夏場3ヶ月間だけで水難者は多数います。水辺にいる時間と人、回数を交通事故と比較して考えてみますと、水辺が異常に事故の発生率が高い場所であることが分かります。事故が起きると危険な場所として遊泳禁止の看板を立て、魅力的な場所をうまく利用できなくなっています。四面を海に囲まれ、豊かな河川に恵まれている日本において、水辺と無縁の生活はありえないと思います。 水難事故を無くするには、最悪の事態を想定した訓練、危険への対応能力を高める体験をつんでおく、泳げる人が海や川で事故に合わないための訓練用プールが必要だと思います。 | C | 県では、これまでに水泳における事故の防止を目的に、公立学校や公営プールの安全管理担当者等を対象に、事故防止に向けた施設の安全管理や救命救急処置等の安全管理講習会を実施しております。スポーツ事故等の防止を図り、県民がスポーツを安心して楽しめる環境を整えていくことは重要であると考えており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 89 | 2-視点2 | 文部科学省の学習指導要領には、「生きる力」を育むために水に慣れ、浮く、潜る、泳ぐなど基本的な水泳を身につけることが示されています。しかし、静かで安全な学校プールでは常に足がつき、波や流れもないため、子供たちは中途半端な泳ぎ方の自信しかつけることができません。パニックを起こさせないためには、自然の中での体験や実際の事態への対処方法を含めた訓練も必要だと思います。事故を恐れるあまり、子供たちを無菌室のような環境で育て過ぎているのではないのでしょうか。例えば、鹿屋体大の実験プールでは毎年、泳げる子供たちを対象に、流れや波、高い場所からの飛び込みなどの体験学習を行われています。しかし、足のつかない深さ4mのプールや流水プールで泳がせようとすると、必ず数人の子供たちが恐がってしまいます。彼らは泳ぐ能力は十分に持っているにもかかわらず、恐怖心から泳げなくなってしまいます。初めての環境に一時的なパニック状態に陥るかもしれませんが、友達が楽しく泳ぐ姿を見ているとすぐ慣れ、深く潜ったり流れを楽しめるようになります。水難事故防止への対応能力は、柔道の受け身のように無意識のうちに身体が反応しなければ肝心な時に役に立たないと思います。とっさに身を守る動作につながる訓練が必要だと思います。水難事故現場を見ると、川岸から見る川の水深は実際の水深よりも浅く見え、ゆるやかな流れに見えても、人が泳ぐ速度よりも速い場合があります。流れる速度は川幅や水深、場所によって変化し、渦も巻くことがあります。また、川底には石や凸凹があり、渦によって深いへこみも掘られ、その場所も常に移動し変化します。海では、平均波高の2、3倍もある波が突然に押し寄せてくる場所もあります。潮の干満による潮流や離岸流などの引き波は、水泳選手よりも速く流れ、風によっても簡単に人が沖に流されることがあります。流された時には、慌てずに冷静に行動し、元の場所に戻ろうと流れに向かって泳がないように注意することや、川の流れに逆らわず川下に向かって歩くなどの訓練を体験することで、危険を回避する能力を飛躍的に高めることができます。助けようとした大人と一緒に引き込まれることも多いのは、体重30キロの子供が川で流される場合、着衣の種類によって異なりますが、人が泳ぐ速度の流れで100キロを超える重さになるからです。一度でも救助体験をしておく、水の流れの強さを一生忘れません。水の中での事故は、生存時間が数分と非常に短く、助けが来る前に意識を失う場合が多いことを考えると、自力での生存能力を高めるための訓練を行うプール施設が必要だと思います。これは世の中に必要な教育施設だと思います。この水難事故防止対策訓練&泳ぐ魅力を提供するマリタニク企画を世界に普及させるには、実践技能と知識を持った適任な人材が必要だと思います。磯の岩場には、無数の小さな窪みがあります。その中にはさまざまな生き物の生命の営みを観察することができます。その魅力は潜って見た人でなければ伝わらないものであり、安全かつ安心して夜でも観察できる方法はないかと考えました。漁場の浜で海水浴を楽しむだけで入漁料を支払うことは難しいです。入漁料を支払っても、入りたくないような磯にする工夫や魅力を引き出す仕掛けを施すことで集客を目指す事業です。渚を網で囲み、その中に魚を入れると、渚が水族館のような雰囲気になり、魚と一緒に泳げ、捕獲体験が簡単にできるようになります。これにより魅力的な漁業体験型教育施設に変わることができます。魚に触れる自然体験という新しいインバウンド観光漁業事業です。水族館のような魅力的な魚、大型でも危険のない魚、魚市場でよく見かける身近な魚をたくさん入れ、観察や餌やり、また、沈没船などの水中アートの鑑賞ができる魅力満載の夜でも安全で安心して泳げるシーランド公園を作ることではできないでしょうか。 神奈川県には設置できる場所も沢山あるかと思えます。本牧プールは、人が多いからと避ける人が多いと聞きます。その方が、こちらへ足を運んでくれるのではないかと期待できると考えます。 | C | 県では、これまでに水泳における事故の防止を目的に、公立学校や公営プールの安全管理担当者等を対象に、事故防止に向けた施設の安全管理や救命救急処置等の安全管理講習会を実施しております。スポーツ事故等の防止を図り、県民がスポーツを安心して楽しめる環境を整えていくことは重要であると考えており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 90 | 1 | 家庭の多忙化、地域コミュニティの希薄化が進む中で「家庭や地域が支援することを前提にした仕組み」では限界があるように感じた。もっと子どもが自然に体を動かすことのできる環境を構築すべきなのではと感じた。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 91 | 1 | ウォーキングを行う人が51%と半数以上いるため、道路の道の幅など、より安全に安心して行えるように対策をより進めることが大切だと考えられる。例えば、自転車用の道と分けたりすることはウォーキングを行う人にとってとても需要が大きいと考えられる。 | B | いただいたご意見は、視点2の6『スポーツ活動の環境整備』において、取り組むこととしております。 |
| 92 | 1 | 成人・子ども・障がい者のスポーツ実施率の低さの原因は天候の変化や外の気温の影響もあるのではないかと考える。なので、外のスポーツも大事だが、屋内スポーツの実行、または見て楽しい屋内スポーツも取り入れた方が「する」だけでなく「みる」も楽しめるようになりスポーツを好きになるのではないかと考える。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 93 | 2-視点1 | 「未病」を意識して生活習慣を整えるという視点は、とても実践的でよい。3つの柱も現代に合っていると思う。また、病気になるための努力よりも、よりよく生きるための取り組みで考えてもよいと感じた。 | C | 幸福で豊かな生活を実現するため、スポーツを通じて、未病の改善や健康寿命の延伸、生きがい・仲間づくりの促進を図ることは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 94 | 2-視点1 | スポーツを通じた健康・生きがいづくりは、レクリエーションスポーツの推進、体の状態や体力に応じた運動の推進以外にも、具体的なスポーツを加えるとわかりやすいと感じた。 | A | 視点1の4『スポーツを通じた健康・生きがいづくり』(P43)に、ウォーキングや健康状態に応じたレクリエーションスポーツなどと記載の一部見直ししました。 |
| 95 | 2-視点2 | 暴力・ハラスメントのないスポーツ環境をつくるには、内部にまで調査していく必要があると感じる。最近の野球部・サッカー部のいじめの問題もスポーツ団体等と連携して取り組んだところで目指している環境になっていくとは思えない。別の方法を考えるのもよいと思う。それか、もっと詳細に内容を記載するのもよいと思う。 | B | いただいたご意見は、視点2の6『スポーツ活動の環境整備』において、取り組むこととしております。 |
| 96 | 2-視点2 | 生活習慣病の増加を減らすには「歩く」と書かれているが、施設が使えるようにするとよいと考えた。無償で提供できるような施設を作ったりすることで利用者が増えて、生活習慣病を予防できると考えた。 | C | 県民の皆様へのニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 97 | 1 | どんなことを具体的にやっているのか普段生活していても分からない。宣伝に力を入れると、より協力の輪が広がると思う。誰もがスポーツを楽しむというのは少し難しいのではと思った。 | C | 県民の皆様へのわかりやすい情報発信は重要であり、デジタル技術を活用した情報発信に努めるなど、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 98 | 2-視点4 | 誰もが「いつでも・どこでも・いつまでも」スポーツを楽しめるという目標はとても良いと思います。ただ、地域や年齢による環境の差があるため、誰もが安心して参加できるよう、施設や機会をもっと充実させてほしいです。(特に高齢者や障がいのある人も楽しめる環境づくり) | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 99 | 1 | 第1期の達成状況の%が平成27年度を足した総%と令和6年の総%の量が違く、調査した人が多くなっているから、非実施も、やっている人も多くなるのはあたり前だと思ってしまう、わかりづらい。スポーツ非実施率を0%に設定するのは、現実味がなさすぎる。 | D | 数値目標については、国のスポーツ基本計画や新かながわグランドデザイン、他の地方自治体の目標を参考にするとともに、現行計画からの継続性を踏まえ、設定しています。 |
| 100 | 1 | スポーツの意義として「する」「みる」「ささえる」があるが、「まなぶ」や「つたえる」などを加えることにより、社会的な関わり方が増えると感じた。 | B | いただいたご意見は、視点3『スポーツの持つ力による地域活性化』において、スポーツを通じて「あつまる」「つながる」機会の創出などに取り組むこととしております。 |
| 101 | 2-視点2 | 神奈川県で障害者のスポーツ大会や体験会などがあることを知らなかった。私はSO横浜でアスリートとして参加をしているが、神奈川県が行っている大会や体験会にも参加してみたいと思ったため、このような情報をもっと多くの人に届くようにしたら良いと思った。 | C | 県民の皆様へのわかりやすい情報発信は重要であり、デジタル技術を活用した情報発信に努めるなど、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 102 | 1 | 成人、子ども、障がい者いずれもスポーツ実施率が未達であることをふまえ、スポーツ未実施者やスポーツ無関心層へのアプローチが必要であると思う。また、地域の総合型、民間、公共のスポーツ施設における障がい児・者の受け入れ増加を目指した施策も必要ではないだろうか。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 103 | 2-視点2 | 人材の育成がとても大事だと思うのでその点が挙げられていることの意義が大きいと思った。指導者自身が暴力を是としているうちはよくならない。指導者教育がすごく重要だと思った。お金を払わないとスポーツできない環境が多い。公園とかの無料でできるところの充実が有料施設の利用者アップにつながるのではないかと。 | C | 県民の皆様へのニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

意見内容の概要 (区分)

1 計画全般について/2 視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進/2 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進/2 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化/2 視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

県の考え方の概要 (区分)

A 改定案に反映したもの/B 既に改定案に反映済みのもの/C 意見の趣旨を今後の取組の参考とするもの/D 改定案に反映できないもの/E その他(感想、質問など)

| 意見番号 | 意見内容の概要 (区分) | 意見の概要 | 県の考え方の概要 (区分) | 県の考え方 |
|------|--------------|---|---------------|---|
| 104 | 2-視点2 | アスリート施策はいい取り組みだと思った。スポーツ医学の促進もさらなる充実が大事だと思う。県内には医学部を持つ大学も体育学部のある大学もたくさんあるので、それらとの連携が必要では。 | B | いただいたご意見は、視点2の7『アスリートの育成』において、取り組んでいくこととしています。 |
| 105 | 1 | 成人のスポーツ非実施率が令和12年度に0%にするのはさすがに厳しいのではないかと。仕事や家庭を持っていたら子育て等で忙しいのでそちらの支援が充実しなければ無理。令和6年度時点30%なので改善できたとしても0%にはならないのでは。しかも令和6年度に向けてあがっているのに。子供のスポーツ非実施率が7%以下を目指すのも難しい。公園でのボール遊び禁止が多いので遊びの場が減っていることを考えると難しいのでは。障害者の週1回以上の実施率40%は達成できそう。視察した県民の割合70%以上というのも達成できそう。やる人は少ないけど、見る人の数は%高いから興味持つ人は多い印象。スマホでも見れる環境が増えていけばもっと増えるだろう。 | C | 数値目標については、国のスポーツ基本計画や新かながわグランドデザイン、他の地方自治体の目標を参考にするとともに、現行計画からの継続性を踏まえ、設定しています。 |
| 106 | 1 | 共働き世帯の増加による子供の運動率低下に関する解決を親に求めている。共働きの忙しさが要因であるならばその環境が変わらなければ解決は難しいのでは。スポーツの枠組みを超えて、働き方に対するもっと大きな価値の転換が必要だと思う。子供のスポーツ実施率の男女差が想像以上に大きい。それに対し男女差解消に対する取り組みが少ないと思った。もっと着目すべきではないか。 | A | 県は、新かながわグランドデザインにおいて、「多様な人材が活躍できる社会づくり」として、スポーツ分野に限らず、生活と仕事の調和を図るワーク・ライフ・バランスの推進等の取組を進めています。男女差については、女性の現状と課題について、視点1の3『スポーツに親しむ習慣の確立、楽しみ・ささえる機会の提供』(P41)に記載しました。 |
| 107 | 2-視点1 | 18歳～64歳という設定は幅が広すぎないか？子育てや仕事がある世代。一番多様なライフスタイルが考えられる世代の施策と一緒に考えていいのかわかるか。スポーツ実施率を年代だけで考えるのではなくライフスタイルで分けた方がより実現可能な目標設定ができるのではないかと。 | C | 本計画は、スポーツの推進に関する長期的な目標や、県が総合的かつ計画的に講ずべき施策等を定めるものであり、個別具体的な事業内容については、毎年度の予算編成や県議会における審議等を経て取り組んでまいります。 |
| 108 | 1 | 1. 生涯スポーツとしてのテニスの位置づけ強化 テニスは年齢・性別・障がいの有無を問わず楽しめる生涯スポーツです。計画における「誰もが楽しめるスポーツ活動の推進」において、テニスの特性を活かした施策等(例：シニア向けテニス教室、障がい者テニス大会の支援)を明記いただきたいと考えます。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 109 | 2-視点2 | 2. テニス施設の整備・利活用促進 県内の公共テニスコートの老朽化や利用制限が課題となっています。計画における「スポーツ環境の整備」において、テニス施設の建設、改修・予約システムの利便性向上、学校施設の地域開放などを具体的に盛り込むことを要望します。 | C | 施設整備の考え方については、P50に記載のとおり、県としては、スポーツ団体や利用者等の意見を伺いながら、整備・充実が必要な施設等とその内容、時期等の具体的な検討を行い、県民が安心してスポーツを楽しめる施設等の整備・充実に努めます。 |
| 110 | 2-視点1 | 3. 青少年の育成と競技力向上支援 ジュニア育成は将来の競技力向上と健全な心身の育成に大切な事です。計画における「青少年の育成」において、テニス協会が実施する育成プログラム(例：ジュニア強化合宿、指導者講習会)との連携支援を明記いただきたいです。 | C | スポーツキャリア全体を見通したアスリートの育成や、指導者等の人材の育成・確保は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 111 | 1 | 4. テニスを通じた地域活性化・交流促進 地域大会やイベントを通じた交流は、地域の絆を深める重要な機会です。計画における「地域活性化」や「共生社会の実現」において、テニス大会・交流イベントの支援や広報協力を求めます。 | C | スポーツの持つ多様な力を活用した取組や、誰もが生き生きと喜びを実感できる共生社会の実現は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 112 | 2-視点2 | 5. テニス指導者・審判員の育成支援 持続可能な競技運営には人材育成が不可欠です。計画における「人材育成」において、テニス指導者・審判員の資格取得支援等が必要と考えます。 | C | スポーツキャリア全体を見通したアスリートの育成や、指導者等の人材の育成・確保は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 113 | 1 | ・IIIスポーツ推進の展望の基本目標は今後も継続発展した考えで進めてほしい。 | C | 県としても、基本目標は、2040(令和22)年度を見据えた継続的な目標と考えており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 114 | 2-視点2 | ・上記の目標の中に、「いつでも」「どこでも」スポーツに親しめる、とありますが、公共の施設の利用方法等では、なかなか難しいように思われる。 | C | 施設整備の考え方については、P50に記載のとおり、県としては、スポーツ団体や利用者等の意見を伺いながら、整備・充実が必要な施設等とその内容、時期等の具体的な検討を行い、県民が安心してスポーツを楽しめる施設等の整備・充実に努めます。 |
| 115 | 2-視点1 | ◆allかながわのスポーツが沢山ありますが、いつ、だれが、どこでなど知られていないように感じますので、どこかに「メディアやSNS等を活用した広報や情報発信を拡充し、県民のスポーツへの意識・関心向上に努めす」等の表現があっても良いと感じました。 | B | いただいたご意見は、視点1の5『デジタル技術の活用』に記載しています。 |
| 116 | 1 | ◆5か年計画書になるのであまり具体的な記載は難しいと思いますが、県スポーツ課でしかできないイベントの創設を具体的に記載することでよりインパクトのある計画書になると感じました例として「子どもから高齢者、障がい者を含めた県内各地一斉の200万人ウォークラリー」等 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 117 | 1 | 目標の達成・未達成について、もう少し掘り下げた原因の分析があった方がよいと思います。特に未達成については施策が良くなかったのか、社会背景(コロナ、貧困等)によるものなのかによって今後の施策の方向性が変わってくるものと思います。 | C | 第1期計画の評価は、神奈川県スポーツ推進審議会等のご意見もいただきながら、施策の目標、達成度の指標に基づき、各視点、施策ごとに達成状況を確認した上でまとめており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 118 | 1 | 最終行「競技面では」と書き出しているが、「施設面」のことが書かれている。 | A | II-3本県のスポーツ資源・特色の本文の記載を一部見直しました。 |
| 119 | 2-視点1 | 課題として「場所」の問題に触れているにもかかわらず、施策面では奨励策に偏っている。乳幼児の運動に欠かせないのは、児童公園や広場であり、都市計画セクションや市町村と連携した取組が不可欠と考えます。 | C | 施設整備の考え方については、P50に記載のとおり、県としては、スポーツ団体や利用者等の意見を伺いながら、整備・充実が必要な施設等とその内容、時期等の具体的な検討を行い、県民が安心してスポーツを楽しめる施設等の整備・充実に努めます。 |
| 120 | 2-視点1 | 児童・青年期の実施率に男女差があるとのことであるが、この原因の分析が必要と思われます。女性特有の原因があるなら、女性に特化した施策が必要になります。また、データが示されていないのですが、その他の年代には男女差がないのか、もし全世代に共通した傾向であるなら、この項ではなく、女性施策の項建てをするのがよいと思います。 | A | その他の年代の男女別データは、(図表13)成人のスポーツ実施状況(年代別・男女別)(P62)に記載しています。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただくとともに、女性の現状と課題について、視点1の3『スポーツに親しむ習慣の確立、楽しみ・ささえる機会の提供』(P41)に記載を追加しました。 |
| 121 | 1 | 市町村においては、地元のプロスポーツチームと連携した様々なイベント等を行っていますが、県はせっかくの資源を生かしてきていないような気がしています。せっかく多数の競技のプロチーム、同一競技の複数チームがあるのだから、やることはいっぱいあると思う。神奈川県らしい連携した取組を期待します。 | C | いただいたご意見は、視点3『スポーツの持つ力による地域活性化』の中で、機会を捉えて取り組んでまいります。 |
| 122 | 2-視点1 | 1 スポーツの捉え方について スポーツの捉え方として「eスポーツ」や「アクティブビデオゲーム」などは含むのでしょうか。デジタル技術の活用を施策展開の一つに位置付けるのであれば、定義(捉え方)に含む必要があるのではないかと考えます。 | A | 本計画におけるスポーツは、3『計画におけるスポーツの捉え方』に記載のとおり、身体活動を伴うものに限られます。eスポーツについては、そうしたスポーツの価値を高める施策展開のひとつとして活用を進めていくこととし、視点1の5『デジタル技術の活用』に第2期計画におけるeスポーツの考え方を追加しました。 |
| 123 | 1 | 2 行政部局の縦割りの排除について 県の行政部局内の縦割り構造が計画の内容に透けて見え、スポーツ政策が矮小化されている印象を受けます。例えば、(運動)部活動の地域展開、アウトドアスポーツ、公園・スポーツ施設整備、学校体育施設開放、学校等での体育授業・体育的活動の外注化(水泳授業や保育園・幼稚園等)、プロスポーツやツーリズム、まちづくり(都市整備の一環としてスポーツ施設の活用)こういった分野についての施策について計画内での踏み込みが浅いように感じます。当然ながら、文化スポーツ観光局スポーツ課だけでは、十分に対応できないことは容易に想像がつきますので、スポーツ政策の横断性自体を計画内で正直に表現しつつ、各部局の施策や計画との関連を整理して本計画内に記してはいかでしょうか。 | A | P59に、年度ごとに各施策に位置付けられた取組の進行管理を関係部局と連携していくことについて記載を追加しました。 |
| 124 | 1 | 3 神奈川県内の地域の多様性とゾーニングについて 本県のスポーツ資源・特色においては、「海、山、川、湖等の豊かな自然や、歴史・文化などの魅力にあふれた地域であるとともに、首都圏に立地することから、プロスポーツチームや多数のスポーツ施設が集積する」とありますが、その特色を生かすためにも、全県的な取り組みと地域性を生かした地域ごとの取組にわけ、地域性が必要な部分はゾーニングに基づいた施策を考えてもよいのではないのでしょうか。アウトドアスポーツができるフィールドやプロスポーツ等のホームタウンなども地域性がありますし、スポーツ施設や人材の地域的な偏在もあると思います。それぞれのエリアでの独自の取組とともにエリアを越えた連携・交流も必要だと思います(各市町村の範囲を超えている内容も多く、各市町村だけでは対応しきれない問題もあるのではないのでしょうか。そこが県の役割になると思います)。 | A | 視点3『スポーツの持つ力による地域活性化』の記載を一部見直しました。 |
| 125 | 1 | 4 スポーツを取り巻く現状と課題について 共生社会の実現に向けた動きについては、歴史的・政策的な背景だけではなく、具体的なデータを示すことはできないのでしょうか。また、本県のスポーツ資源・特徴に関しても、より資源を数値化したり、データの提示の仕方を工夫したりすることが必要かと思えます。施設に関しては、県立や公立のスポーツ施設だけでなく民間施設や学校体育施設・公園などの施設の種別の数や配置は示してもらいたいですし、スポーツ指導者等の人材も示せるのではないのでしょうか。また、(一定規模以上の)施設やプロスポーツチームなどの資源は地図上でのプロットなども示せると思いますし、人口当たりの資源量などは色分けなどで示せると思いますし、視覚的にも現状がわかりやすくなると思います。 | C | 本県におけるスポーツの状況は、VI関係資料に記載しており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |

意見内容の概要(区分)

1 計画全般について/2 視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進/2 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進/2 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化/2 視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

県の考え方の概要(区分)

A 改定案に反映したもの/B 既に改定案に反映済みのもの/C 意見の趣旨を今後の取組の参考とするもの/D 改定案に反映できないもの/E その他(感想、質問など)

| 意見番号 | 意見内容の概要(区分) | 意見の概要 | 県の考え方の概要(区分) | 県の考え方 |
|------|-------------|---|--------------|---|
| 126 | 1 | 5 第1期計画の総合的評価(1 数値目標の達成状況)について 数値目標の達成状況については、すべての目標が未達という結果をどのように評価しているのかわかりません。また、原因をどのようにとらえているのでしょうか?施策の目標の達成状況では、個別の施策目標の内容にとどまっておき、総合的な数値目標との関連がわかりません(わかりやすく分析して示す必要があります)。例えば、成人の週1回のスポーツ実施率の未達については、どの年代のどのような人が特に低かったためといった分析もできるのではないのでしょうか。 | C | 本県におけるスポーツの状況は、VI関係資料に記載しており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 127 | 1 | 6 第1期計画の総合的評価(2 施策の目標の達成状況)について 各施策の評価の具体的な内容には踏み込みませんが、まず成果と課題を(成果と課題)といった形で同列に並べるべきではないと思います。成果は成果でまとめ、課題は課題でまとめたほうが良いです。内容を見ると、成果と思われる部分が文章の大半を占めており、課題についてはほとんど書かれていません(数量に明らかに偏りがあります)。 成果の部分に関して、「実施・稼働(アウトプット)」と「成果(アウトカム)」が混同されており、何をやったか(アウトプット)しか書かれていません。政策は社会や市民に還元されるものであり、アウトカム(もしくはアウトプットとアウトカムの関連)をより明確に示すべきです。アウトプットについても、「取り組みました」や「実施しました」といった表現だけではなく、どの程度実施したのか、どの程度の参加者数があったのかといった形で具体的な数値を示さないと評価できないのではないのでしょうか(どの程度アウトカムに影響を与えるものであったかなど分析する必要があると思います)。 また、課題をより具体的に示す必要があると思います。なお、課題については、成果とプロセスの両面から考える必要があると思います。前(現)計画に関して言えば、数値目標はすべて未達であり、アウトプットが目標達成に十分に寄与しなかったわけですから、より課題(特にプロセス・方法)を重視して分析すべきではないのでしょうか。政策形成プロセスを考へても課題認識が政策形成の第1歩です。正確な政策成果や社会の課題認識のうえで、それら課題を解決するための政策を考へることが必要であり、そうでなければ実効性の高い政策・施策は作れないはずですから、充実した成果と課題の分析を行ってほしいと思います。 | C | 第1期計画の評価は、神奈川県スポーツ推進審議会等のご意見もいただきながら、施策の目標、達成度の指標に基づき、各視点、施策ごとに達成状況を確認した上でまとめており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 128 | 1 | 7 スポーツ推進の展望(1 基本目標)について 目標とは、一般的に、期限を設けたうえで具体的な数値目標とその目標達成のための手段や方法を示したものであると認識しています。本計画案における基本目標は、数値も一切示されておらず、どちらかという目的や理念・方向性といった内容であり、目標とするにはあまりにも漠然とした内容ではないのでしょうか。また、表現自体も非常にあいまいで抽象的です。「生涯スポーツ社会」「前向きで活力がある社会」「誰でも生き生きと喜びを実感できる共生社会」とは具体的にどのような状況なのでしょうか。人によって想定する内容が異なれば、目的にも目標にもならないのではないかと思いますので、これらの社会像はより具体的に定義する必要があると思います。ただし、多様なステイクホルダーがいますので最大公約数的でも構わないかと思ひます。 | D | 本計画では、2040(令和22)年度に向けたスポーツ推進の展望としての基本目標と具体的な数値目標を合わせて示すことで総合的かつ計画的な計画としての位置づけを担保しており、基本目標の考え方はP30に記載しています。 |
| 129 | 1 | 8 スポーツ推進の展望(2 数値目標)について 数値目標の根拠がわかりません。また、5年間の達成の見込みはあるのでしょうか。これらの数値目標は、前(現)計画と大枠は変わらないと思いますが、約9年の計画期間を経てすべてが未達であったわけですから、それが5年で達成できると判断した根拠がわかりません。例えば、現在の週1回のスポーツ実施率は約49%であり、それを目標値である70%まで引き上げるとしたら、神奈川県成人が約800万人として、その約20%(約160万人)が新たに週1回スポーツを実施することになります。それを5年間で実現する方策と資源があると認識しているということでしょうか(方策や資源に劇的な変化があるということでしょうか)。現実性がない目標は、目標達成に関わる者の無力感や方策の誤り、不正の原因になりかねません。希望や願望ではなく目標ですので、現実的な設定が必要かと思ひます。なお、目標達成の方法や根拠(積み上げ)があるのであれば、お詫ひのうえ撤回いたします。 なお、本計画の最終的な目標年度は2040年であるわけですから、2040年の最終的な目標を計画素案にある数値目標にしたうえで、5年間で達成する数値目標は現実的な数値目標を設定しても良いかと思ひます。また、5年、10年、最終年度といった形で段階的に示しても良いかと思ひます(5年後の見直しの際に、進捗に応じて変更することも可能です)。 さらに、基本目標と数値目標の関連がわかりません。計画案での数値目標は「する」「みる」「ささえる」といったスポーツ関与との関連の目標であり、そのほとんどが基本目標1に包含される内容であると思ひます(障がい者のスポーツ実施率は3も含むと思ひますが)。スポーツ関与が様々なスポーツの効果の基本だとしても、基本目標と数値目標の体系的な整理と妥当性が必要でないのでしょうか。 | D | 数値目標については、国のスポーツ基本計画や新かながわグランドデザイン、他の地方自治体の目標を参考にするとともに、現行計画からの継続性を踏まえ、設定しています。 |
| 130 | 1 | 9 スポーツ推進に向けた施策・事業(達成度指標)について 各施策の達成度指標について、指標があるにもかかわらず目標値が設定されていません。計画とは目標とその達成のための道筋を示すものであり、目標値が示されなければその合理的な方法も導き出せないはずですから、また、各施策の達成度指標と数値目標や基本目標と関連を体系的かつ論理的に示す必要があると思ひます。 また、目標値においてもアウトプットの数値とアウトカムの数値を区別してはどうでしょうか。アウトカム指標においても、県全体の施策目標として適切性が疑われるものも多いように思ひます。例えば、「県立スポーツセンターにおける合宿の実施件数」は県の所管であると思ひますが、県の地域活性化を表す指標としては不十分(矮小)だと思ひます。 具体的には共生社会の目標(施策も)が障がい者に偏っているのも問題だと思ひます。スポーツにおける共生は、障がいだけでなく、国籍やLGBTQ、宗教なども関連します。障害を持つ人の介助者の問題もあるでしょう。多様な住民が暮らしている神奈川県だからこそ展開できるスポーツ施策があるはずですから、一方で、障がい者に関しては「する」だけではなく、「みる」スポーツ環境への配慮やバリアフリーの多様化も必要だと思ひます。スタジアム等への車いす席の人口比の配置、音声案内や解説の充実、内部障がいや感覚過敏者に対するセンサールームなど、先進的な取り組みを支援することは注目度の高い施策になるのではないのでしょうか。 | C | 達成度の指標は、施策の目標の進捗状況や達成の度合いを具体的に図るための数値として設定しており、本計画は総合的かつ計画的な推進を図るための計画であり、細部に渡る個別具体的な施策を指標として示すことは困難ですが、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 131 | 1 | 10 スポーツ推進に向けた施策・事業(主な取組)について 主な取組の内容が非常に雑駁であり、具体的になにを行うのかが明確ではありません。この内容ですと行政の裁量が際限なく発揮されてしまいます。5年間の施策・事業ですので、基本的にはアクションプランであるべきであり、優先順位や取組順序をつけて具体的に書く必要があります。せめて、例えばという形でも構わないので、それぞれの取組の下に具体的な事業や取組を箇条書きで書いてはどうか。また、達成度の指標と主な取組の関係がわかりづらい内容があります。例えば、スポーツ活動の環境整備においては、指標は総合型クラブの会員数となっているが、取組には総合型クラブ関連の取組が無かったり、ハラスメント等の取組があるがそれが目標のどれに寄与するのかわかりにくかったりすることです。順序は本来逆かもしれませんが、具体的な取組(必要なこと)に合わせた目的設定があってもよいかもしれません。 なお、具体的な事業の提案としては、デジタル技術の活用による施策の一環として、県発信の一定程度の信頼性の高いデジタルプログラムの作成・配信してもらいたいと思ひます。現在、YouTubeやInstagram・TikTokなどの動画系のSNSには、根拠の乏しい運動処方やフィットネスのプログラムが氾濫しています。一方でコロナ以降これらの動画を契機・参考にして個人や小集団で運動・スポーツをする人が増えています。県が、県内の大学や有識者・プロスポーツチームと連携して、信頼性の高いコンテンツをライフステージや興味関心ごとに提示できれば、有用性が高いのではないのでしょうか。高齢者の健康づくりニーズだけではなく展開(子どもの体力やうごきづくり、青年期のスポーツ選手の適切なトレーニング方法、県内のアウトドアスポーツ・アーバンスポーツの場所やプログラムの紹介、美容や痩身を目的とした運動方法など)が期待されます。もちろんviewを伸ばす実効性ある仕組みも必要だと思ひます(ショート動画やYouTubeの連動やインフルエンサーとのコラボレーションなど)。市町村の枠を超えて県民(もしくは全世界)に直接発信できる内容で、翻訳機能等を使えば県内の外国籍の住民などにもサービスを展開することができる(共生社会への寄与)のではないのでしょうか。なお、デジタル技術の活用による施策の達成度の指標にある「県が管理する各種SNSの総フォロワー数」はスポーツ推進とどのように関連するのでしょうか?各種にはどの程度のスポーツコンテンツがあるのでしょうか。またスポーツ関連で独自のSNSの展開があるのでしょうか。また、その取組として、「県民がスポーツに触れ合う機会や、スポーツにつながる機会など、スポーツに関わる情報をわかりやすく、ホームページやSNS等で発信します。」はあまりにも雑駁です。 | D | 本計画は、スポーツの推進に関する長期的な目標や、県が総合的かつ計画的に講ずべき施策等を定めるものであり、個別具体的な事業内容については、毎年度の予算編成や県議会における審議等を経て取り組んでまいります。 |
| 132 | 1 | 11 4 施策の総合的かつ計画的な推進のために必要な事項(1) 協働・連携について 広域自治体である県にとって、市町村や政令市との役割の整理は必須のはずです。基礎自治体に任せることと広域自治体である県が独自性を示すべきところを区別して示すべきではないのでしょうか(それを前提に目標や施策も考えられるべきです)。また、基礎自治体以外にも、素案内に記されているように多様なステイクホルダーとの関係が必要であり、それを「県民等」と雑駁に表現するべきではないと思ひます。まずはステイクホルダーを網羅的に示したうえで、それぞれのステイクホルダーとの関係の中での県の役割とステイクホルダーに求める役割を示してはどうでしょうか。学校や幼稚園・保育園・学童保育、福祉・介護施設、保健所、地域スポーツクラブ、スポーツNPOなどもステイクホルダーとして挙げる必要があるのではないのでしょうか。また、「企業」も雑駁です。コンテンツやノウハウを持つスポーツ関連の企業もあれば、スポーツを支援する企業、通常の企業の中のスポーツ活動(旧職場スポーツの展開)、スポーツ施設を保有する企業など、スポーツと企業の関わりは多様です。それらを表現できないのでしょうか。スポーツ関係団体も一般の県民の方にはわかりにくい表現だと思ひます。 | D | 多様な主体とのかかわり方は、個別具体的な施策ごとに異なるものであり、計画全体として一律に定めることは考えておりません。 |
| 133 | 1 | 第2期神奈川県スポーツ推進計画について、特に神奈川県民の皆さんの20代~40代のスポーツ実施率が低いという、具体的なファクトを示され、県民の皆さんがスポーツを通じて未病を改善し、健康寿命の延伸を図り、生涯に亘り元気に過ごすことを目的とした、具体的な社会課題の解決施策を実行されていることに、非常に高い価値があるものと考え、共感するとともに、弊社もその一端を担わせていただいていることに、誇りを感じております。 弊社といたしましても、引き続き神奈川県、県民の皆様にも出来る限りの貢献をして参りたいと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。 | C | スポーツをなかなか行うことができない成人期においても、それぞれの興味・目的や体力・技術に応じてスポーツを実践し、習慣化していくことは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 134 | 1 | ・全体的に抽象的な表現や造語があり、具体性に乏しい。具体的な表現で記入すべき。 | D | 本計画は、スポーツの推進に関する長期的な目標や、県が総合的かつ計画的に講ずべき施策等を定めるものであり、個別具体的な事業内容については、毎年度の予算編成や県議会における審議等を経て取り組んでまいります。 |
| 135 | 1 | ・第1期計画の総合評価全体を通して、成果と結果を分けて記載すべき。新たな計画を立てようと進めているのに何が実施事実で、それによってどんな結果が生まれたのか、またそこに足りなかったことは何が分からない。 | C | 第1期計画の評価は、神奈川県スポーツ推進審議会等のご意見もいただきながら、施策の目標、達成度の指標に基づき、各視点、施策ごとに達成状況を確認した上でまとめており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 136 | 1 | ・基本目標が飛躍しすぎている。また、目標の説明としてそれぞれのつながりが分からない。例えば、前向きで活力のある社会とはどんな社会なのかは受け取る人によって異なるのではないか。 | C | 基本目標は2040(令和22)年度に向けたスポーツ推進の展望として定めるものであり、考え方はP30に記載のとおりです。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 137 | 1 | ・5年後の数値目標として、現状の倍近い目標が設定してあるのは無理がある。約15年同じような目標値を掲げているにもかかわらず達成できていないどころか、減少している数値もある中で、5年で達成できる可能性が低い。 | D | 数値目標については、国のスポーツ基本計画や新かながわグランドデザイン、他の地方自治体の目標を参考にするとともに、現行計画からの継続性を踏まえ、設定しています。 |

意見内容の概要(区分)

1 計画全般について/2 視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進/2 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進/2 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化/2 視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

県の考え方の概要(区分)

A 改定案に反映したもの/B 既に改定案に反映済みもの/C 意見の趣旨を今後の取組の参考とするもの/D 改定案に反映できないもの/E その他(感想、質問など)

| 意見番号 | 意見内容の概要(区分) | 意見の概要 | 県の考え方の概要(区分) | 県の考え方 |
|------|-------------|---|--------------|--|
| 138 | 1 | ・「成人のスポーツ非実施率を0%に近づけます。」という表現は曖昧で、0.1%でも現状から減ったとしたら目標達成になってしまう為、表記を変更すべき。 ・スポーツ推進の施策展開でも達成度の指標を現状データで示しているが、施策目標に具体的な数値がなく、何を以て達成しているのかが分からない。施策目標にも具体的な数値を表記すべき。 | D | 数値目標については、国のスポーツ基本計画や新かながわブランドデザイン、他の地方自治体の目標を参考にするとともに、現行計画からの継続性を踏まえ、設定しています。 |
| 139 | 2-視点4 | ＜「第2期神奈川県スポーツ推進計画(素案)」に関する意見＞ 私は県内でパラスポーツの団体を運営しています。「スポーツを通じた共生社会の実現」について明記されている点は非常に良かったと思いますし共感するところですが。「かながわパラスポーツ」の普及と障がい者スポーツの推進への取り組みに大いに期待しております。一点、「パラスポーツ」と「障がい者スポーツ」という言葉の意味について、それぞれどのように定義、解釈して使用しているのか気になりました。障がい者だけが参加するものなのか、障がいの有無に関係なく誰でも参加できるものなのか、によって計画の方向性や内容は違ってくると思います。パラスポーツについての記載の中で、障がいの「程度」に関係なくという文言はありますが、「有無」に関係なくという文言は無かったように思います。パラスポーツは障がいの「程度」だけではなく「有無」に関係なく誰でも楽しめるスポーツであり、全く同じ条件で対戦できる競技も多く存在します。パラスポーツは「障がい者のためのスポーツ」「障がい者しか参加出来ないスポーツ」と誤解をされることが多いので、まずは正しい知識と認識をもってもらうように、そもそも障がい者スポーツとパラスポーツはそれぞれどんなスポーツであり、どう位置付けられているのかを明確に示して頂き、その上でそれに適した計画を具体的に立てて頂きたいです。「パラスポーツの普及」に関して言えば、障がいの無い人がどれだけ関わっているかが非常に重要です。障がいの当事者ももっとたくさん参加出来るようにするという目標はもちろん必要ですが、それと同じくらい障がいの無い人が「支援者」としてだけではなく同じ「競技者」として多く関わるのが重要です。いずれにしても、障がいの有る人と無い人が同じ目線で関わり、その中で共感や相互の理解が生まれ、の先に共生社会の実現があると思っています。障がい者スポーツもパラスポーツも、それを障がい者の領域としてその枠内でいくら障がい者を集めたところで共生社会にはなりません。その枠を超えた本当の意味での共生社会の実現に向けて、「ともに生きる社会かながわ憲章」を掲げている神奈川県であるからこそできるスポーツ推進計画とその施策を全国に先駆けて実行して行って欲しいです。 | A | 本計画では、「スポーツを通じた共生社会の実現」の施策において、「かながわパラスポーツ」と「障がい者スポーツ」という2つの用語を使用しています。本県では、パラスポーツを「障がいのある人がするスポーツ」という考え方から一歩進め、「すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えること=『かながわパラスポーツ』と捉え取組を進める「かながわパラスポーツ推進宣言」を2015(平成27)年1月6日に行い、その後、2017(平成29)年3月に施行した神奈川県スポーツ推進条例において、かながわパラスポーツを「県民がそれぞれの関心、目的、体力、年齢、運動機能及び健康状態に応じて、生涯にわたり楽しみながらスポーツを行い、観覧し、及び支えること」と定義しました。こうした経緯から、障がい者が行うスポーツとしての「障がい者スポーツ(パラスポーツ)」と「かながわパラスポーツ」を書き分けているものです。なお、障がいの有無については、ご意見のとおり、スポーツ基本法では「有無」という言葉を使用しておりますが、本計画では、かながわパラスポーツの定義で「運動機能及び健康状態」という幅の広い言い方をしていることから、障がいの「程度等」という言葉を使用するものです。なお、いただいたご意見を踏まえ、Ⅶ参考資料1用語解説・索引(50音順)(P77)において、上記の考え方等を記載しました。 |
| 140 | 1 | 第2期神奈川県スポーツ推進計画について 1年間にスポーツをささえる活動をした県民の割合ですが、近年下降傾向にあるなか、10%という目標は、数字上では少々無理があると感じました。その他、スポーツを普及させたいという思いを計画書の中から感じ取れたため、普及につきまして今後もご尽力いただきたいと思います。 | D | 数値目標については、国のスポーツ基本計画や新かながわブランドデザイン、他の地方自治体の目標を参考にするとともに、現行計画からの継続性を踏まえ、設定しています。 |
| 141 | 1 | P18 数値目標が未達成となっていますが、スポーツ実施率を急激に伸ばすことは難しいと思います。数字を迫ることも重要ですが、スポーツでいかに県民の心身や生活に良い効果をもたらせるかが重要だと思います。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 142 | 1 | P32 スポーツを「みる」「ささえる」の数値目標は入れたことは、スポーツが多様な効果をもたらすものであるため、とてもよい変更点だと思います。ただし、最終的な目標はスポーツでいかに県民が幸せになったか、ですので、その目標に向けて取り組んでください。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 143 | 2-視点1 | P40 ・イ 中学校の生徒が継続的にスポーツに親しむ機会の確保で、地域の実情に応じた部活動の地域展開を目指します。と記載がありますが、現行計画では、地域移行の「受け皿」となるスポーツ団体等の確保などに取り組み、との記載があることから、もう少し具体的な取組を記載してもよいのではと感じましたのでご検討ください。 | D | 部活動の地域展開の具体的な取組については、別に定める「公立中学校における部活動の地域移行に係る神奈川県の方針」改定を検討しており、当該方針に対応してまいります。 |
| 144 | 2-視点1 | ・現行計画同様に、部活動の地域展開の文字に「運動部」とつけたほうが誤解がないのではと感じましたのでご検討ください。 | D | 部活動の地域展開については、文化芸術との連携等も考えられることから、現行どおりとさせていただきます。 |
| 145 | 2-視点1 | P42 ・働く社会人にとって、忙しい日常でスポーツをするのは簡単ではないです。スポーツ実施率を向上させるためには、気軽に隙間時間でやれるものや日常の中で意図せず運動につながるもの(遠回りして歩いて帰る等)等、県や市町村等から発信してくれるとやろうという気持ちになると思います。 | C | スポーツをなかなか行うことができない成人期においても、それぞれの興味・目的や体力・技術に応じてスポーツを実践し、習慣化していくことは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 146 | 2-視点1 | P44 ・ねんりんピックをはじめ高齢者のスポーツはなかなか世間一般に知られていないと感じます。ぜひ参加促進やPRをどんどんしたほうがよいと思います。 | C | 幸福で豊かな生活を実現するため、スポーツを通じて、未病の改善や健康寿命の延伸、生きがい・仲間づくりの促進を図ることは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 147 | 2-視点1 | P45 ・eスポーツはビデオゲームやオンラインゲーム等のいわゆるゲームが流行っていますが、スポーツにつながるようなeスポーツでないあまり意味がないように感じます。ぜひそのあたりは、いろいろな可能性を見つけて活用してほしいです。 | A | eスポーツについては、スポーツの価値を高める施策展開のひとつとして活用を進めていくこととし、視点1の5『デジタル技術の活用』に第2期計画におけるeスポーツの考え方を追加しました。 |
| 148 | 2-視点1 | P46 ・情報発信は非常に重要な取組だと思いますが、行政から発信されるものは災害情報等、緊急性や信用性が求められる情報以外は目につくことはありません。フォロワー数だけにとらわれず、見た人が満足する、スポーツに少しでも興味をそえられるような情報発信が求められると思います | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 149 | 2-視点2 | P49 ・エ 暴力やハラスメントのないスポーツ環境の推進で、いろいろと書いてありますが、昨今の状況を見るに、暴力やハラスメントの対策は行政や指導者、競技団体等が率先してやるべきです。 | B | 暴力やハラスメントのないスポーツ環境の推進として、市町村、スポーツ団体等と連携して取り組むことを記載しています。 |
| 150 | 2-視点2 | P49 ・神奈川県には競技場だけでなく、いろいろなスポーツや運動ができる公的な施設がたくさんあると思います。そのような場所を活用することで、施設そのものの知名度向上や利用率向上につながると思います。 | C | 県民の皆様のニーズに応じたスポーツ環境の整備は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 151 | 2-視点2 | P52 ・障がい者アスリートの育成で具体的にどんなことをやっているのかわからないので、もっと発信してほしいと思います。 | C | 県民の皆様へのわかりやすい情報発信は重要であり、デジタル技術を活用した情報発信に努めるなど、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 152 | 2-視点3 | P54 ・善行の県立スポーツ施設に何度か行きましたが、宿泊棟もあり、とてもいい施設だと思います。一般人が合宿等で利用できるかわかりませんが、あの施設をどんどん活用して行って、スポーツで活気を出していけば、県内外の多くの人が使いたいと思える評判を作れると思います。 | B | 視点3の8『スポーツの持つ力による地域活性化』の施策の目標として「県立スポーツ施設を活用した地域活性化」、その指標として「県立スポーツセンターにおける合宿の実施件数」を盛り込んでいます。いただいたご意見も参考に、取組を進めてまいります。 |
| 153 | 2-視点4 | P58 ・デフリンピックが開催され、障がい者のスポーツの注目度は世間的にも大きくなっていくと思います。ぜひ神奈川県もこの流れに乗って、障がい者も楽しめるスポーツを普及してください。 | C | 人種、性別、年齢、障がいの程度等にかかわらず、誰もが生き生きと喜びを時間できる共生社会の実現は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 154 | 1 | P60 ・関係資料で、様々なデータが載っており、なるほどと思う反面、私自身も含め働く世代がスポーツをしていないんだとわかりました。ぜひ、スポーツをやる暇があるなら遊んでいた、休んでいたと思っている人間が、いかにスポーツって面白いんだと、やってみる価値はあるんだと思わせるような計画になるといいと思います。 | C | 各々の関心、目的等に応じて、スポーツをする、みる、ささえる機会を提供することは重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 155 | 2-視点1 | 2023年度から2025年度が改革推進期間とされている運動部活動の地域移行に関して「県、市町村、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会などの関係団体等との連携体制を整える」とありますが、指導者の確保や財政的な負担といった具体的な課題に対して、神奈川県はどのような役割を担い、特に受け皿となるスポーツ団体へどのような支援を行う予定なのか気がになりました。方針が決まっていたら、教えていただければと思います。 | E | 部活動の地域展開の具体的な取組については、別に定める「公立中学校における部活動の地域移行に係る神奈川県の方針」改定を検討しており、当該方針に対応してまいります。 |
| 156 | 1 | 1 そもそも神奈川県スポーツ推進計画は、推進する事業について「きっちりかつきっちり」示したのではなく、(基本目標や相内目標などの)大きな方向性を示し、その目標を達成するための施策体系(施策の方向性)を示しただけのものと捉えている(例えば、前回見直し時に、大会の実施が決まっていたデフリンピックの記載を全くしなかったにもかかわらず、多額の税金をかけて関連事業を実施している)。そのため、このような70ページを超える大作にするのではなく、ブランドデザインを補完する程度のもの(20ページ程度くらい)にすればいいのではないかと。特に、現計画の検証を載せているが、後述するのとおり、新しい取組とのつながりも見られないことから、検証は、主な取組を記載しうえて、定量的な評価(数値目標)及び定性的な評価(成果と課題)をするだけでよいと考える。現段階で見直すことは難しいと思うが、国からも「地方スポーツ推進計画」の策定等に係る事務負担の軽減について、お問い合わせ、事務負担の軽減について通知されていることから、次回見直し時の検討課題としていただきたい。 | D | 本計画は、スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画であるとともに、神奈川県スポーツ推進条例に基づく推進計画としての位置づけを有しており、必要な内容を適切に示したものと考えています。 |
| 157 | 1 | 2 全体として作りが荒い 例えば、 ・「団体」という言葉がいろいろでくるが、使い分けが良くわからない(例えば、スポーツ団体とスポーツ関係団体の違いは何?) ・「かながわパラスポーツ」の扱いが不安定。「普及」するものなのか「推進」するものなのか? (条例上は普及するものであるが、)形のない理念だけに難しいと思うが、扱いがはっきりしていない。 ・P12の課題について、2行目が○の下まで飛び出している。 ・P46の「デジタル技術を活用したスポーツ体験(中略)など、多様な場面でデジタル技術を活用したスポーツ施策を展開」など、ダブルやわかりにくい表現などが散見される。そのため、全体的に言葉の使い分けや文章の作りについてチェックが必要。 | A | 計画全体を通じて、文言の整理を行うとともに、文章の校正を行いました。 |

意見内容の概要(区分)

1 計画全般について/2 視点1 誰もが生涯を通じて親しめるスポーツ活動の推進/2 視点2 スポーツ活動を広げる環境づくりの推進/2 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化/2 視点4 スポーツを通じた共生社会の実現

県の考え方の概要(区分)

A 改定案に反映したもの/B 既に改定案に反映済みのもの/C 意見の趣旨を今後の取組の参考とするもの/D 改定案に反映できないもの/E その他(感想、質問など)

| 意見番号 | 意見内容の概要(区分) | 意見の概要 | 県の考え方の概要(区分) | 県の考え方 |
|------|-------------|---|--------------|--|
| 158 | 1 | 3 総括の成果がよくわからない P28に現計画の成果についてまとめているが、ラグビーワールドカップや東京2020大会については、「成功に導いた」とし、(内容について疑義はあるものの)成果として謳うことは理解できる。しかし、他については、「〇〇を推進しました」などとされ、取り組んだこと自体を成果としているが、それでは県民にとってどんな成果があったのかわからない。成果というからには、「何をしたか」ではなく、「(県民にとって有用なことについて)何ができた」のかをまとめるべきだと思う。 | C | 第1期計画の評価は、神奈川県スポーツ推進審議会等のご意見もいただきながら、施策の目標、達成度の指標に基づき、各視点、施策ごとに達成状況を確認した上でまとめており、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 159 | 1 | 4 基本目標を変えた狙いが不透明 そもそも、前期の基本目標が何だったのかわからないままP18からの総括を行っているため、総括での評価が(良かったのか悪かったのかを含め)良くわからない。そのため、基本目標を微妙に変えているが、なぜ変えているのかわからない。本来であれば、よほどのことがない限り、基本目標は変えるべきものではないと考えるが、もし、変えるのであれば、総括を受け、こうこうこういう理由により変えるということが導き出されなければならないと考える。 | A | 第1期計画の基本目標、基本目標の見直し理由について、記載を追加しました(P17、P30)。 |
| 160 | 1 | 5 新しく設定した数値目標が唐突 新しく「みる」「ささえる」の数値目標が設定されたが、「なぜ設定するのか」「なぜその数値」なのかが、総括から導いていないため、唐突感がある。新たに設定するのであれば、少なくともP28、29の「まとめ」において、「みる」「ささえる」のこれまでの取組の振り返りと、数値目標を設定して取り組むことの必要性についての記載が必要だと考える。また、設定された数値も、数値目標の項目において、なぜその目標なのかの説明がないため、そのあたりの説明が必要である(数値目標が達成すると県民にとってどういうメリットがあるのかわからないので、施策に多額の税金を使う納得感が感じない)。 | A | III-5まとめ(2)主な課題(P29)及びIV-2数値目標(P31)の記載を一部見直しました。 |
| 161 | 1 | 6 数値目標達成に向けた方策が見えてこない 例えば、成人の週3回の実施率の目標を35%から40%にあげているが、数値そのものは、令和4年度から6年度にかけて減少している。それに対して、なぜ下がっているのか、実施率を上げるために、どのような取組を行っていくのが効果的なのかについて、言及されていないため、目標年度の「令和12年度」に、達成する絵が見えてこない。新たに設定した「みる」「ささえる」についても、同様なことと言える。例えば、「みる」についていえば、これまでの取組についての評価や、なぜ「みないのか」についての分析ができていない状態であるため、達成できる絵が見えない。 | C | 成人のスポーツの状況については、VI関係資料の図表のとおり、主に20代から50代の働く世代の実施率の増、非実施率の減が課題と考えており、その理由についても図表で示しております。 「みる」、「ささえる」については、今回新たに数値目標を設定したものであり、今後、個別具体的な取組を検討する中で、今回設定した数値目標を意識し、取組状況を定期的に検証してまいります。 |
| 162 | 1 | 7 計画に位置付けられていない取組の評価 行政計画は、行政が税金を活用し施策展開するにあたり、その時の施政者により、「いきあたりばったり」にならないよう、一定期間の取組について制限を与えることも一つの目的として作成するものとする。しかし、神奈川県スポーツ行政においては、計画遂行についての意識が希薄なのか、計画期間中に、計画に位置付けられていない取組も、新規に実施している。もちろん、社会情勢の変化を踏まえ、柔軟に対応することは必要であるが、もし新規に対応したならば、(このような大作の計画を作成する以上)少なくとも、総括において、いつ、何のために、どのような理由により新たに実施し、どのような成果等があったのかの記載が必要だと考える。 | D | 本計画は、スポーツの推進に関する長期的な目標や、県が総合的かつ計画的に講ずべき施策等を定めるものであり、個別具体的な事業内容については、毎年度の予算編成や県議会における審議等を経て取り組んでまいります。 |
| 163 | 2-視点4 | 8 デフリンピックの位置づけ スポーツ基本法が改正され、法律上、オリンピックやパラリンピックと同列にデフリンピックやスペシャルオリンピックスが位置付けられた。計画上、オリンピックやパラリンピックは競技としての扱いのため、スペシャルオリンピックスは目的が異なり、記載しないことは理解できる。しかし、デフリンピックはパラリンピックと同様に扱えるべきものにもかかわらず、一切の記載がない。デフリンピックについての取組を今後行わないということなのかもしれないが、法律にも逆行することから、パラリンピックと同様、施策の方向や指標にも位置づけ取り組んでいただきたい。 | A | 視点4の9『スポーツを通じた共生社会の実現』に、デフリンピックの記載を追加しました。 |
| 164 | 2-視点1 | 9 インターハイを契機とした「みる」「ささえる」の推進 計画期間中の令和9年度に、インターハイが県内を中心に南関東で実施される。インターハイは、皇室のご臨席を仰ぐ、全国120万人の高校生アスリートにとって最高の舞台であり、47都道府県から6千校以上、4万人以上の選手、監督・コーチが参加し、観客数は60万人を超える大イベントである。 現在の素案では、インターハイについて全く記載がないが、この機会を新たに設定した数値目標の「みる」「ささえる」への契機とすべく、大会を成功に導くよう、計画に位置付け、しっかりと取り組むべきだと考える。 | D | インターハイの具体的な計画については、県教育委員会において、全国高等学校体育連盟の定める「全国高等学校総合体育大会開催基準要項」に基づき対応することとしています。 |
| 165 | 1 | ・現行の計画の数値目標が全く達成できていないのに、素案の数値目標が高すぎる。一方で、観覧した県民の割合という数値目標だけ達成見込みがありそうな数値を出すのはどうなのか?いずれにも根拠があるのか? | D | 数値目標については、国のスポーツ基本計画や新かながわブランドデザイン、他の地方自治体の目標を参考にするとともに、現行計画からの継続性を踏まえ、設定しています。 |
| 166 | 2-視点1 | ・子どもに対しては、学校という場所をもっと活用するべきである。ただし、教師の負担軽減は前提。 | C | 子どものスポーツ推進のためには、学校等の場所の確保は重要であり、いただいたご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 167 | 2-視点1 | ・成人のライフステージの категорияが18-64歳と広すぎる。また、年代で分けるだけでなく、スポーツ経験やスポーツ・運動に対する志向性、仕事・子育て・婚姻状況などのライフイベントなどで状況が異なるはずであり、それぞれに数値目標が必要である。 | D | 本計画は、スポーツの推進に関する長期的な目標や、県が総合的かつ計画的に講ずべき施策等を定めるものであり、個別具体的な事業内容については、毎年度の予算編成や県議会における審議等を経て取り組んでまいります。 |
| 168 | 2-視点1 | ・横浜マラソンだけでなく、県民が参加可能なスポーツイベントを列挙するなど具体的に提示してもらいたい。 | A | 視点1の3『スポーツに親しむ習慣の確立、楽しみ・ささえる機会の提供』の記載を一部見直しました。 |
| 169 | 2-視点2 | ・アスリートやデュアルキャリアへの支援策を明確にすべきである。 | C | スポーツキャリア全体を見通したアスリートの育成や、指導者等の人材の育成・確保は重要であり、いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 170 | 1 | ・主な取組の内容が抽象的すぎる。何を具体的にやるかわからない。 | D | 本計画は、スポーツの推進に関する長期的な目標や、県が総合的かつ計画的に講ずべき施策等を定めるものであり、個別具体的な事業内容については、毎年度の予算編成や県議会における審議等を経て取り組んでまいります。 |